

解説

1. 品目の選定

当施設用器具部会会員会社において製造・販売されている製品群の中で、点検の必要性が高くかつ誤使用の危険性(可能性)を含んでいるものを選定しております。

2. 点検の難易度と誤使用の危険度

2-1. 点検の難易度は、★の数で5段階に評価しております。

★★★★★	高度に専門的な技術及び点検具が必要である。
★★★★☆	専門的な技術を修得すれば、市販の点検具でも点検可能である。
★★★☆☆	専門的な技術は特に必要ないが、簡単な点検具が必要である。
★★☆☆☆	材料や構造の特性が理解できていれば、目視及び触感により異状の有無が判別できる。
★☆☆☆☆	目視及び触感により、異状の有無が容易に判別できる。

2-2. 誤使用の危険度は、★の数で5段階に評価しております。

★★★★★	使用者が技量を超えて使用したり、誤った使用によっては生命の危険性がある。過去に死亡事故の例がある。
★★★★☆	操作及び使用の技術が容易でなく、誤った使用によっては傷害を受ける危険性がある。過去に傷害事故の頻度が高い。
★★★☆☆	操作及び使用の技術は容易であるが、誤った使用によっては特に初心者の場合に傷害を受ける可能性もある。過去に傷害事故が記録されている。
★★☆☆☆	機能及び構造が簡単であり、使用上の危険性が容易に判断できると同時に回避も可能である。過去に若干の傷害事故が記録されている。
★☆☆☆☆	機能及び構造が簡単で使用方法も容易であり、誤使用の可能性が少ない。過去に誤使用による傷害事故がほとんど記録されていない。

※器具を使用する際は、危険度にかかわらず必ず指導者並びに管理者のもとで使用すること。

3. 標準耐用年数

器具の耐久性は環境条件(海に近い地域で使用する場合は塩害や風・雨・雪などによる影響、日照時間や温度・湿度による影響)や使用条件によって大きく左右されます。

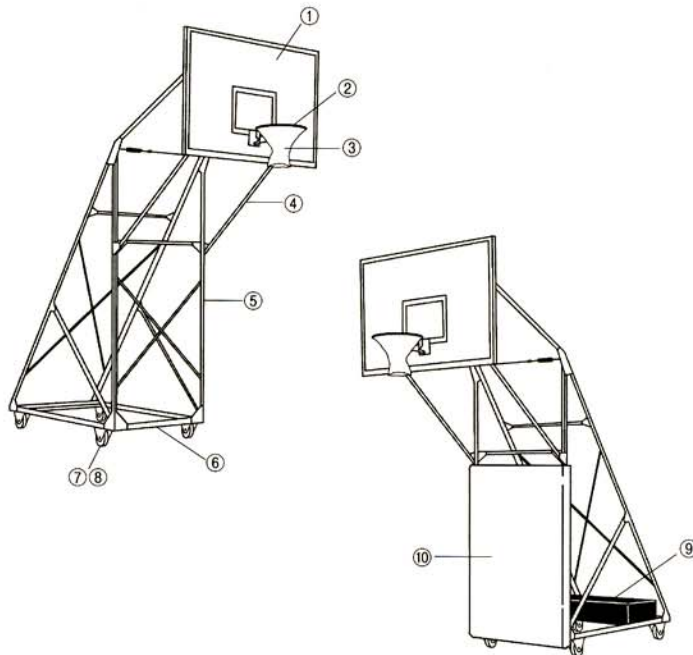
この手引きでは、東京都23区内の環境条件において一般の学校体育に使用される平均的条件(使用方法・頻度)を想定して、この年数が過ぎれば初期の器具特性が保持できなくなり、各部分の劣化が進行し器具に起因する事故確率が高くなる分岐点を標準耐用年数として規定いたしました。

器具を使用する際は点検内容に基づいて日常点検を行なうと共に、掲載されている標準耐用年数に達しなくても定期的に専門業者によるメンテナンス・部品交換を実施して下さい。

B001090

バスケット台 移動式

番号	名称
①	バックボード
②	リング
③	リングネット
④	アーム
⑤	支柱
⑥	土台フレーム
⑦	車輪(キャスター)
⑧	ストッパー
⑨	重錘(おもり)
⑩	防護マット



○正しい使い方

- (1) 転倒防止のため、平たんな正しい位置に設置して下さい。
- (2) 転倒防止のため、十分な重錘⑨を載せて下さい。
- (3) 移動する際には、管理者の適切な指示に従って、ゴールの外側を持ち、十分保持できる人数でおこなって下さい。
- (4) 移動が済んだら、ストッパー⑧を掛けて、ゴールが動かないようにして下さい。
- (5) 危険防止のため、バックボード①、リング②、リングネット③、アーム④、支柱⑤等に登ったりぶら下がらないで下さい。
- (6) 衝突時のケガを防止するため防護マット⑩を取り付けて使用して下さい。
- (7) 適切な指導のもとで使用し、本来の目的以外には使用しないで下さい。

○安全点検の時期と内容

点検箇所	点検内容	定期点検時期	標準耐用年数
バックボード	はがれ、ささくれ、割れ、変形等がないかを確認する	3ヵ月	2年
リング、リングネット	破損・変形・さび等がないかを確認する	3ヵ月	2年
アーム、支柱、土台フレーム	破損・変形・さび等がないかを確認する	6ヵ月	5年
車輪、ストッパー	破損・変形・摩耗等がないかを確認する	3ヵ月	1年
重錘	破損・変形・さび等がないかを確認する	6ヵ月	5年
接合部	ボルト・ナットの緩み、破損、変形等がないかを確認する	3ヵ月	3年
防護マット	破れ、変形、へたり等がないかを確認する	3ヵ月	1年

※上記の点検内容にもとづいて日常点検をおこなって下さい。

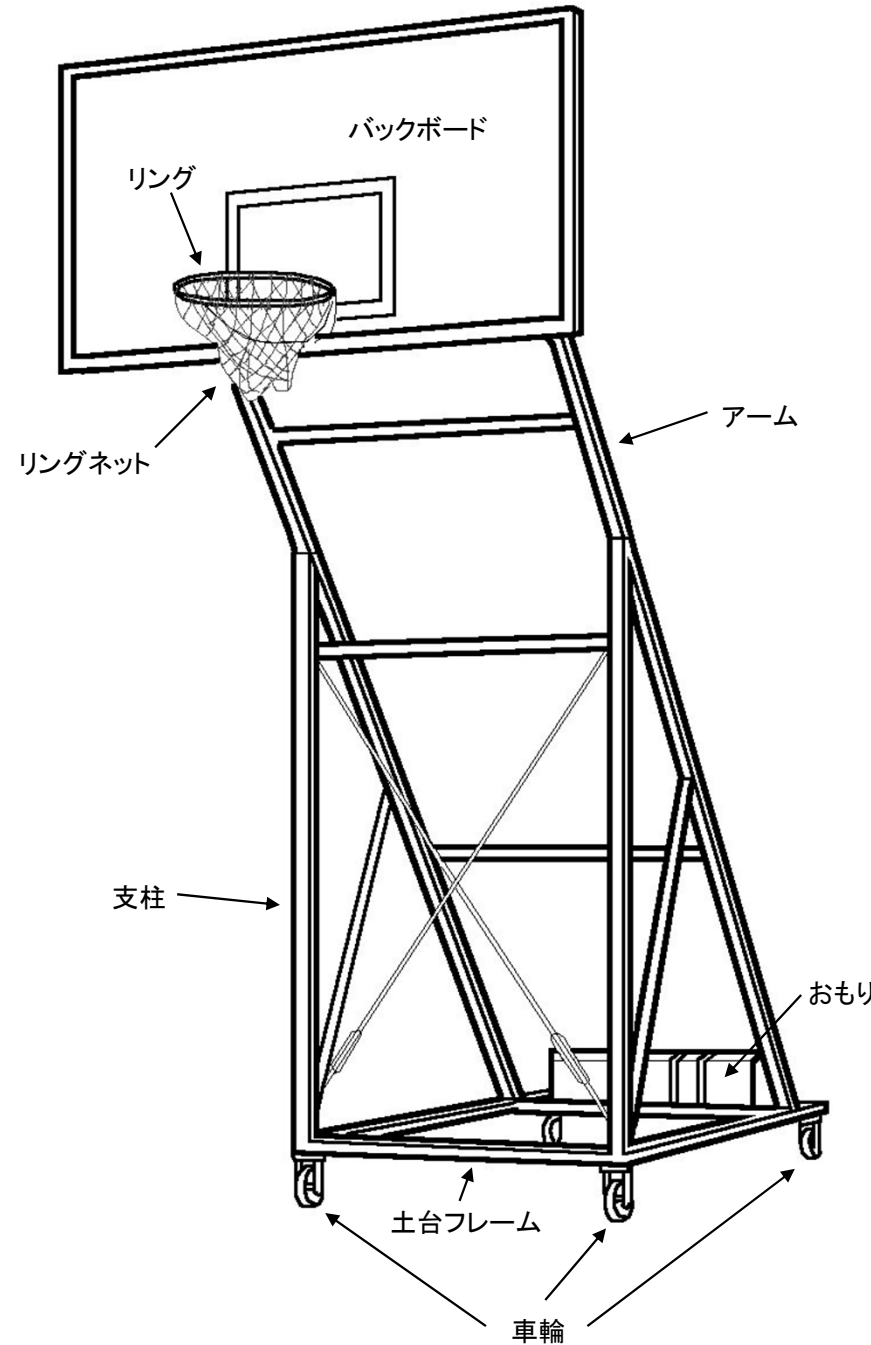
※異状が確認された場合は直ちに使用を中止して、製造業者、または販売代理店にすみやかに連絡をとり、修理または交換等の適切な処置をして下さい。

○維持管理について [専門業者によるメンテナンスを受けて下さい]

- (1) 塗装部にはがれがあれば早期に補修塗装をして下さい。
- (2) 使用しない時、または風害、水害、雪害等が予想される場合は、転倒しない措置をして保管して下さい。

バスケット台(屋外移動式)安全点検表

項目	点検箇所	点検内容	点検方法	使用前点検	点検時期		点検結果				処理	管理者検印
					年月日	年月日	正常	調整	補修	交換		
本体	バックボード	はがれ、ささくれ、割れ、変形等がないかを確認する。 ※はがれ、割れ等がある場合、リング・バックボードの滑落がある事があります。	目視及び触感	-	3ヶ月ごと							
	リング リングネット	変形・破損・さび等がないかを確認する。 ※変形・破損等がある場合、本体が歪んだり転倒する原因になる事があります。	目視及び触感	-	3ヶ月ごと							
	アーム 支柱 土台フレーム	変形・破損・さび等がないかを確認する。 ※変形・破損等がある場合、本体が歪んだり転倒する原因になる事があります。	目視及び触感	-	6ヶ月ごと							
	車輪 ストッパー	車輪の動きはスムーズか・ストッパーは有効か・磨耗はないか、変形・破損等はないかを確認する。 ※車輪が磨耗・変形・破損等で動きに異常がある場合、搬送時に本体が転倒する原因になる事があります。	目視 触感 及び 操作	毎使用時	3ヶ月ごと							
	接合部	ボルト・ナットの破損、変形および取付け状態(ゆるみなど)を確認する。 ※変形・破損等がある場合、本体が歪んだり転倒する原因になる事があります。	目視及び触感	毎使用時	3ヶ月ごと							
設置状況	設置場所	使用時は転倒防止のために平坦な場所に設置されているか、転倒防止のためにおもりやペグが十分使用されているかを確認する。 平坦な場所でなかったり、おもりやペグが十分でない場合、転倒する事があります。	目視	毎使用時	毎使用時							
	おもり	変形・破損・さび・劣化等がないかを確認する。 ※おもりやペグが十分でない場合、転倒する事があります。	目視及び触感	毎使用時	6ヶ月ごと							
防護	防護マット ※防護マットがついている場合に点検	変形・ほつれ・破れ・へたり等がないかを確認する。 ※外被に破れ等がある場合、身体の一部が引っかかり思わぬ怪我をしたり、内部構造材の劣化等でクッション性の低下により事故の原因になる事があります。	目視及び触感	毎使用時	3ヶ月ごと							



☆特記事項: 上記点検にしたがって点検し異常が確認された場合は使用を中止し、購入先へ連絡し修理・交換の処置を行ってください。塗装部にはがれ等がある場合、早急に補修塗装を行ってください。使用しないとき、または風害、水害、雪害等が予想される場合は、転倒しない措置をして保管してください。

備考				
購入日	年 月 日	購入先	販売元	メモ
備品番号		名称 住所 電話	株式会社 エバニュー アスレチック & フィールドDiv. 〒135-8506 東京都江東区木場 6-4-38 東京 TEL 03 (3649) 6236 FAX 03 (3649) 4955 E-mail: a-f@evernew.co.jp	
No.				